

2022 総務委員会 組織/活動報告

組織 計6名 *順不同・敬称略

メンバー	氏名	支部	理事/会員	所属
委員長	鈴木 康久	東日本	理事	杉野服飾大学
事務長	市川 智美	本部	会員	文化ファッション大学院大学
委員	榎下町 伸一	本部	理事	文化ファッション大学院大学
	増田 大助	本部	理事	ファッションビジネス学会事務局長
	播岡 充	関西	会員	大阪文化服装学院
	岡田 絵梨奈	西日本	会員	香蘭女子短期大学

活動報告

目標	活性化の一環で、本部事務局と理事会、総合運営会議、委員会/分科会と連携して学会をアピール、5カ年で会員（正会員・学生会員・賛助会員）の倍増を目指す
2022 結果	<p>年間で3回の委員会を開催（ZOOM）</p> <p>■会員増加に向けた施策案、人材育成支援に関する意見交換と次年度予定について検討</p> <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、会員数は微減の傾向にあり、魅力あるファッションビジネス学会をどのようにアピールしていくか学会全体の協力のもと、具体案を出していく必要がある。 ・賛助会員増強のためには、学会が発信する訴求力不足は否めない。 ・学生に対する学会の認知度不足 <p>施策案</p> <p>1. 正会員増加策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッション系以外の大学、高校への会員勧誘 ・産学の有識者によるファッションビジネスの課題や問題点等の意見交換会を行い、入会へのきっかけをつくる ・各学校の産学意見交換会の内容を学会員限定で公開する ・支部ごとに目標数を決めて確実に実行していくという、会員勧誘の雰囲気作りが必要 ・創刊された「学会プレス」は現状として会員しか見られないが、会員を増強する目的として公開することも検討する ・学生会員を卒業後に正会員へ誘導する流れを作ると良い <p>2. 賛助会員増加策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の中に「準会員（仮）」を設ける ・ファッションテック関連企業、公的組織（地域の産業振興会など）の勧誘を強化 ・テクノロジー関連等、急成長中の企業を中心に勧誘を進める ・勧誘先企業への挨拶の仕切りは本部事務局が実施するが、理事会内の推薦者が同行し、声掛けの窓口になってもらう <p>3. 学生会員増加策</p> <p>FB アワードY:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者への勧誘、各学校からの声掛けを強化、SNS 発信を開始する ・企業への協賛を働きかける ・エントリー者への会員勧誘 ・受賞者に「学生部会」活動の場を提供する ・賞品については副賞としてインターンシップ等の未来につながるインセンティブを提示 <p>他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス学会 HP に求人票を掲載する
2023 予定	正会員および学生会員、賛助会員獲得のため、総務委員会で精査・検討したものを、理事会および総合運営会議、各委員会において具体的に実施していく。

以上